

# H23 年度第 1 回保全事業報告会

## <開催日時>

- 平成23年8月5日(金)19:00-20:30 谷津干潟自然観察センター(26名)

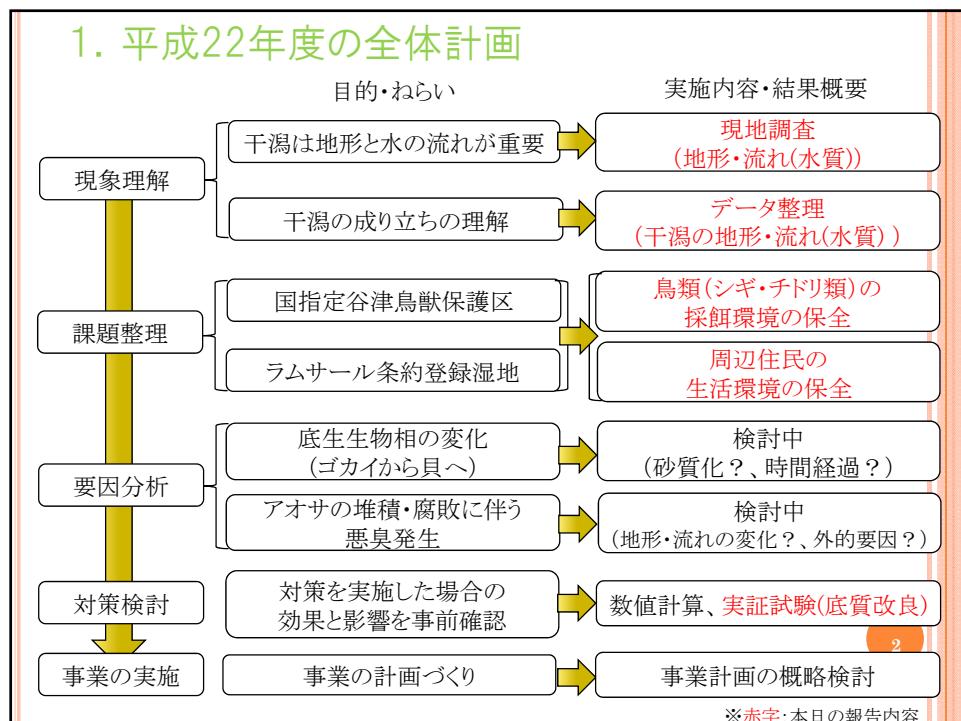
## <説明内容>

- 保全事業調査について
- 保全事業の今後の取り組み等について

※資料

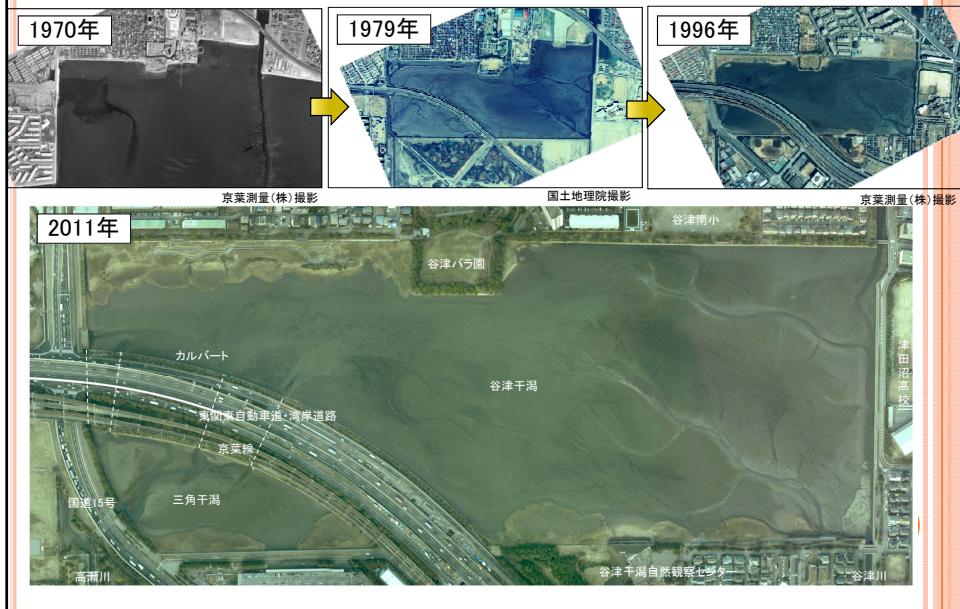
[保全事業調査について.pdf](#)

[保全事業の今後の取り組み等について.pdf](#)



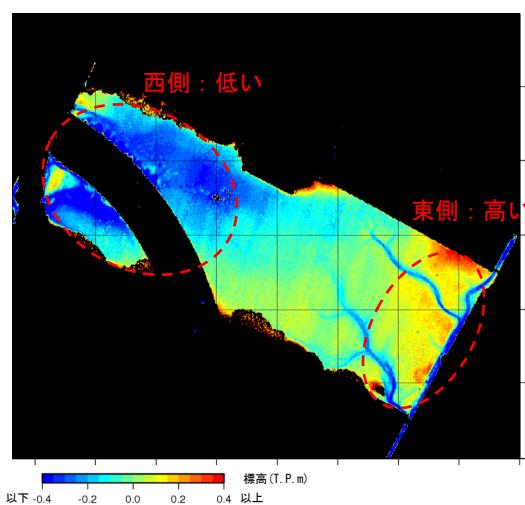
## 2. 現象の理解(現況把握)

### ○ 空中写真による経年変化



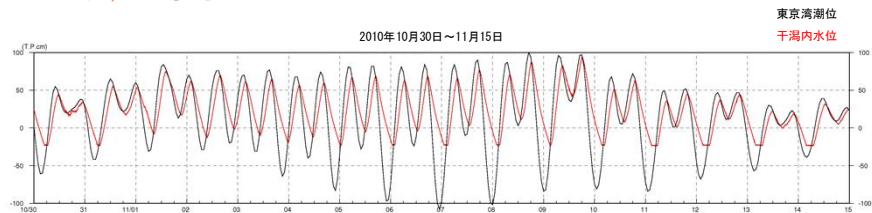
## 2. 現象の理解(現況把握)

### ○ 地形の現況



## 2. 現象の理解(現況把握)

### ○ 水位の現況



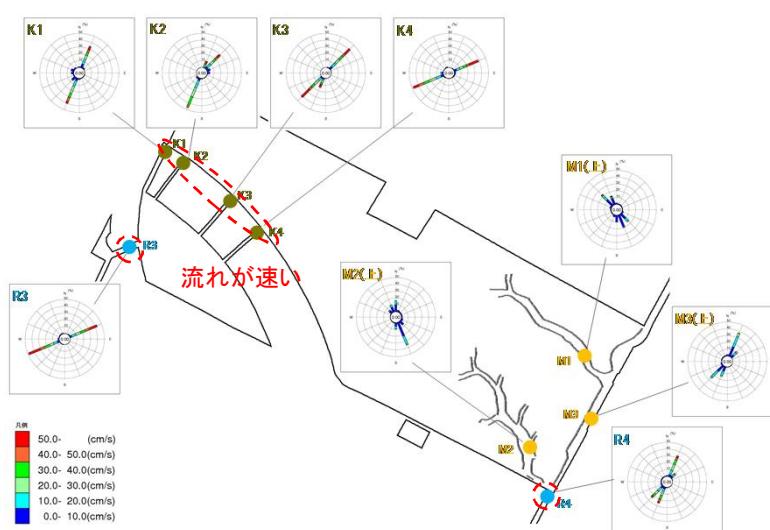
### 干潟内の水位

- ・満潮時は東京湾満潮位から30～100分遅れ
- ・干潮時は東京湾干潮位から40～150分遅れ

5

## 2. 現象の理解(現況把握)

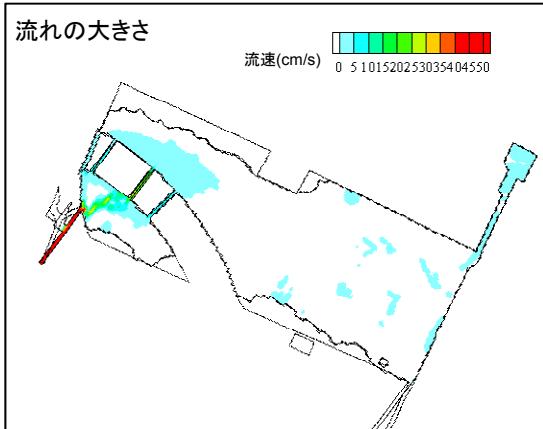
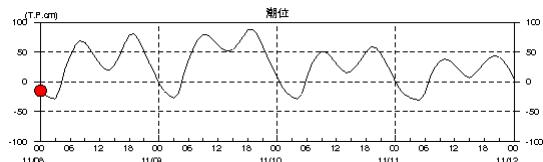
### ○ 流れの現況



6

## 2. 現象の理解(現況把握)

### ○ 流れ(数値シミュレーション)



7

## 3. 課題の整理

### ○ (1) これまでの環境変遷

国指定谷津  
鳥獣保護区

ラムサール  
条約湿地

1970年代

1980年代

1990年代

2000年代

事業

埋立て・道路工事

菊田川水路締切り

一部水面埋立て

下水処理場整備

外的要因

気温上昇

アオサ(別種)移入

(全国)シキ・チトリ類減少

環境変化

(西側)地盤高低下(窪地化)

(一部)塩分上昇(海水化)

(東側)砂質化

浮泥・有機物減少

(流路)貝殻堆積

貝類増加

(全域)アオサ繁茂(通年)

シキ・チトリ類減少

### 3. 課題の整理

#### ○ (2) 課題の抽出

##### 【位置付け】

###### 国指定谷津鳥獣保護区

- 目的  
鳥類の保護・生息地の保護
- 指定要件  
集団渡来地

###### ラムサール条約登録湿地

- 目的  
湿地の保全と賢明な利用
- 湿地の特徴  
泥質干潟、シギ・チドリ渡来地

##### 【現状】

シギ・チドリ類の飛来数の減少

アオサ悪臭による生活環境の悪化

##### 【保全対象】

鳥類(シギ・チドリ類)が  
渡来(採餌)できる干潟環境の保全

周辺住民の生活環境の保全  
(アオサ悪臭対策)

##### 【当面の課題】

採  
餌  
場

(西側) 地盤高の低下、  
下げ潮時の排水阻害

餌

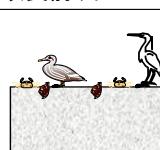
(東側) 底生生物相の変化

(東側) アオサの堆積・枯死

9

### 4. 底質改良試験の経過報告

#### 改良前(イメージ)



#### 改良後(イメージ)



干出



冠水



干出

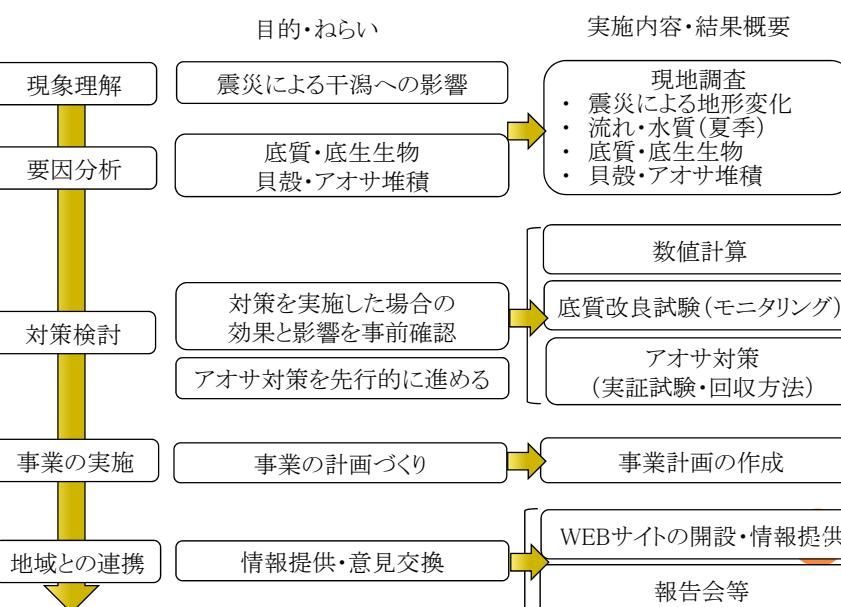


## 保全事業の今後の取り組み等について



関東地方環境事務所

### 1. 平成23年度の全体計画



## 2. 平成23年度のスケジュール(案)



3